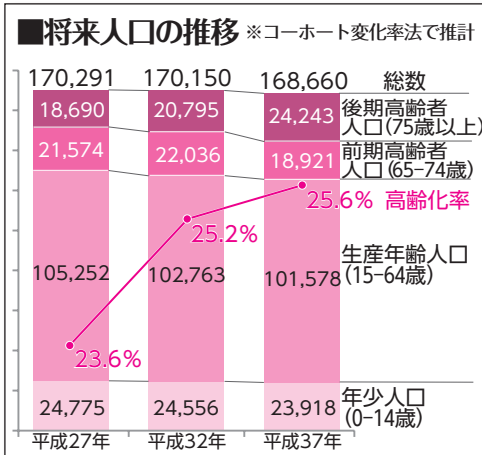


市民記者が行く！広報サポーターレポート



高齢化が急速に進む社会情勢において、地域住民参加型の支援活動が円滑・効果的に行われるよう、実践的な知識と行動体制を習得する「高齢者生活支援サポーター養成講座」が3回にわたり開催されました。受講者の皆さんに参加の動機をお伺いすると「将来の両親の



広報サポーター
沖田和子さん(寺津町)

超高齢社会を支えるために何ができるかー市民目線で考え実践する

ために参考にしたい」「自分自身のために役立てたい」「地域のためにできることを習得したい」とのことでした。

第1回は、背景となる超高齢社会の現状と介護の現場、高齢者を支えるボランティアについて学びました。高齢化率の上昇をはじめ、介護給付費の増大や認知症高齢者人口の増加など超高齢社会は待ったなしです。運動を通じて介護予防を行う「こころばん教室」など、仲間と一緒になら継続できることの事例が紹介されました。ボランティアとは「みんなで助け合うことができる

■地域包括支援センターの役割

- 総合相談
 - ▶地域の高齢者が安心・安全に暮らすため、介護のことだけでなく、保健・福祉・医療やその他生活に関するさまざまな相談に乗ります。
- 権利擁護
 - ▶悪質な訪問販売を防ぐため成年後見制度の利用を促進する活動を行います。
 - ▶高齢者虐待の発見と対応を行政と相談しながら行います。
- 包括的・継続的ケアマネジメント
 - ▶高齢者が安心して暮らしていけるように、さまざまな機関との連携を十分に図るためのネットワークづくりを行います。
 - ▶支援困難な高齢者への支援方法について、ケアマネージャーなどに指導・助言を行います。
- 介護予防ケアマネジメント
 - ▶介護保険の対象とはならないが、将来に備えて介護予防のための教室などを効果的に利用するための計画を、ご本人やご家族と相談しながら作成します。
- 介護予防支援
 - ▶要支援1・2の高齢者を対象に、介護保険サービスの利用のための計画を、ご本人やご家族と相談しながら作成します。
- その他の事業
 - ▶地域の実情を分析し、その地域に必要と思われるサービスを西尾市に提案し、実施しています。

る人・助かる人になる。そのため、できることから一歩ずつ」との考えが大切であると感じました。

第2回は、地域包括支援センター、傾聴などについて学びました。地域包括支援センターとは、高齢者が住み慣れた地域で、生き生きと生活していくための支援を行う拠点となる所です。高齢者を孤立させないためには、傾聴（話をすること・話を聴くこと）が重要で「うん、うん」「なるほど」などオーバーに相づちを打つと良いとのことでした。

第3回は、高齢者の支援について市民にできることを学びました。他市の例で、元気な高齢

広報サポーターは、公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で、市内各地のイベントなどを取材していただきます。

者が支援の必要な高齢者を支える「お助けマン制度」。ボランティア活動が自らの介護予防につながる事が分かりました。また、地域コミュニティが大切であり、周りの高齢者のために市民ができることをもっと考える必要があると感じました。

この講座に参加して、少子高齢化社会を支えるために何ができるかを、もっと身近に考えなければいけないと痛感しました。生活支援サポーターが市民に知れ渡り、どんどん活躍してくれることを期待します。



自分たちのまちは 自分たちで守る

吉良町消防団応援隊

吉良町消防団応援隊は、消防団活動の後方支援や地域防災力の強化を目的に組織した団体で、吉良町消防団員のOB約200人超で構成しています。主な活動は、団員からの要望を取り入れながら出初式や観閲式、操法発表会などの消防行事で、団員に食事を提供したり、来場者に消防団をPRしたりしています。消防団が身近な存在であることや、その必要性を感じてもらうことで、団員の確保につながることが活動の意義と考えられています。年々団員の確保は難しくなり、団員数は減少の一途をたどっています。ぜひ消防の式典などに足を運んでいただき、団員の活動を見てください、彼らはメッチャ頑張っています！

地域への関心が希薄な状態では自分たちのまちを自分たちで守れません。地域の安全・安心を守るのは防災の要の消防団、まちづくりの礎となり根幹となり得るのも消防団だと信じ、私たちは応援していきます。
 問合せ 吉良町消防団応援隊 太田 (☎32・3171 / 吉良町)

このコーナーに登場してくれるサークル・ボランティア団体を募集しています。詳しくは、秘書課広報担当 (☎65・2159) へ。

キ
ツ
ズ
ア
ル
バ
ム



みお
早川 美音ちゃん
(吉良町)

平成26年2月生まれ
いつも元気いっぱいのみおちゃん。たくさん
の笑顔をお礼ありがとう♡



いおり
福島 伊織くん
(平坂吉山一丁目)

平成26年2月生まれ
ぽっぽ大好き伊織くん。
終里くんの優しいお兄
ちゃんになってね。



ゆうせい
塩澤 悠生くん
(新在家町)

平成25年8月生まれ
乗り物大好き悠生くん
☆ たくさん食べて大
きくなってね♡



しほ
池田 志帆ちゃん
(平坂町)

平成26年8月生まれ
歌と手遊びが大好きな
志帆ちゃん。笑顔いっ
ぱい元気に育ってね！



みなと
中根 湊遥くん
(羽塚町)

平成26年2月生まれ
いつもやんちゃなみな
と。これからも、元氣
にスクスク育ってね！



つばさ
稲垣 翼くん
(中畑町)

平成26年2月生まれ
カメラを向けるといつ
もこのクシャ顔！
翼、2歳おめでとう。



さき
山口 沙紀ちゃん
(一色町)

平成26年2月生まれ
野菜いっぱい食べて健
やかに育ち、やさしい
人になってね。



あさひ
岩瀬 朝陽くん
(下矢田町)

平成26年8月生まれ
愛嬌抜群のあつくん♡
その笑顔でみんなを明
るく照らし続けてね！

西尾市史ニユース 6

奇僧 キンコク の山水画

岩瀬文庫学芸員 神尾愛子

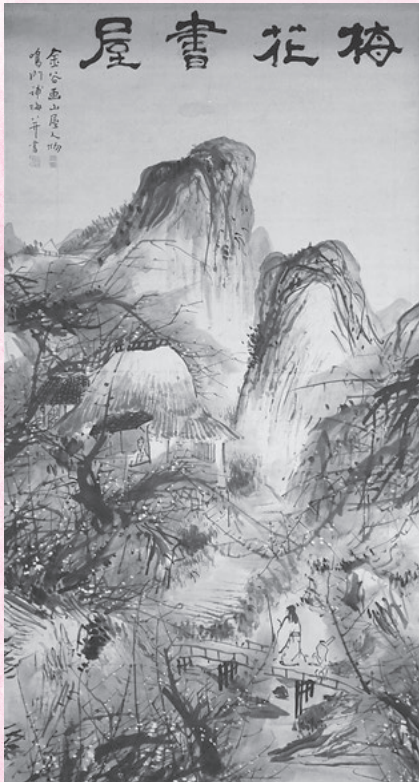
新編西尾市史編さんのため、市内の寺院の絵画調査を進めています。その際、よく目にするのがキンコク横井金谷の作品です。

金谷は宝暦11(1761)年、近江国(滋賀県)生まれの浄土宗の僧で、絵師としても活躍しました。豪快な筆使いで深山幽谷を描く特徴があり、与謝蕪村の画風に似ていることから「近江蕪村」とも呼ばれています。

自伝『金谷上人御一代記』によれば、9歳で寺へ修行に入るも、11歳で女と駆け落ちし、遊郭通いで破門されて諸国を流浪したり、賭け事や芸事に熱中したり、山伏として高僧の大峰山修行に同行して「法印」の称号を得たりと、破天荒な生涯を送ったようです。

説法を得意とする金谷は、名古屋滞在中に近隣の寺に招かれ、海蔵寺(吉良町)や清海寺(吉良町)、極楽寺(鳥羽町)、不退院(上道目記町)を訪れ、太山寺(寺部町)にも逗留しました。こうした縁から、市内の寺院を中心に金谷の軸や襖絵が残されているとみられます。

現代では、知る人ぞ知る、金谷の作品ですが、江戸時代に当地の人々がこの奇僧の説法に耳を傾け、個性的な画風に親しんでいたことは確かです。こうした西尾ならではの文化を掘り起こすことも、市史調査の醍醐味の一つでしょう。



海蔵寺所蔵「梅花書屋図」

関岩瀬文庫 (☎56・2459)

月刊!! スポーツにしお Vol.11

総合型地域スポーツクラブ紹介 第2弾 「NPO法人スポーツクラブいっしき」

NPO法人スポーツクラブいっしきは「いつでも、だれでもいつまでも」を合言葉に、幼児から高齢者まで幅広い世代が地域に密着して活動しています。

●健康、楽しみ、競技志向など目的別の活動

23種目の活動と12のサークルがあり、日々の健康づくりとして気軽に参加される方から自身の記録やチームの勝利を目指す方まで、さまざまな目標を持つ方が活動しています。

陸上やドッジボールなどは競技性が強く、積極的に対外試合に参加し優秀な成績を収めています。和太鼓やヒップホップ、チアダンスは地域のイベントで演技を披露しています。



●子どもから高齢者まで参加できる地域密着型クラブ

誰でも楽しく参加できる、ハイキングやウォーキングなどのイベントも多数開催しています。昨年12月に開催した「ミステリーウォークラリー」では、多くの参加者が謎を解きながら一色町内を歩きました。



今年、NPO法人となって9年目を迎え、10周年記念イベントを企画しています。皆さまのご参加をお待ちしています。イベント内容など、詳しくはスポーツクラブいっしきホームページをご覧ください。

関スポーツ課振興担当 (☎54・0002/総合体育館内)

NPO法人スポーツクラブいっしき (☎77・2858/一色B&G海洋センター内)

西尾市のデータ

■人口



	1月1日現在	前月比
男性	86,137人	+35人
女性	84,578人	+53人
計	170,715人	+88人
世帯数	61,068世帯	+83世帯

■交通事故の状況



	人身事故 件数	死傷者	
		負傷者	死亡者
12月	66件	78人	1人
1月からの累計	749件	871人	8人

■消防の状況



	火災	救助	救急
12月	5件	1件	566件
1月からの累計	48件	40件	6,472件

今月の表紙

1月10日、総合体育館で平成28年西尾市成人式が行われました。成人を迎えたのは1802人。華やかな振り袖や真新しいスーツに身を包んだ新成人は、旧友との再会を喜びとともに、決意を新たに大人の第一歩を踏み出しました。式典後のアトラクションでは、じゃんけん大会などが行われ、盛り上がりを見せていました。

編集雑記

国道23号岡崎バイパスの西尾東～藤井インターチェンジの4車線化が3月末までに完了する予定となっています。2月13日には新東名高速道路の浜松いなさ～豊田東ジャンクションが開通。いずれも慢性的渋滞の緩和が期待できます。渋滞なしに移動できるのが電車。2月14日に鳥羽神明社で国指定重要無形民俗文化財「鳥羽の火祭り」が行われます。燃え盛る炎に飛び込む奉仕者の迫力は必見です。名鉄電車を利用して出掛けてみてはいかがでしょうか。(ゆ)

スクールスマイルショット

School Smile Shot

●横須賀小学校

12月4日、二分の一人成人式が行われました。家族や地域の代表から祝いの言葉を受けた4年生65人は、決意の気持ちを詩に込めて力強く披露し、家族へ感謝の手紙を手渡しました。



●寺津中学校

12月16日、寒風吹く中、奥田マラソンが行われました。長距離走の授業の集大成として202人の生徒が挑戦。沿道からの声援を受け、女子は1・5km、男子は2kmを力いっぱい走り抜きました。



●佐久島小学校

1月8日、八剣神社で八日講祭りが行われました。東西の弓仕が弓矢で八角凧を射る神事が終わると、児童が競争で凧や矢を奪い合いました。これらは持ち帰ると災難よけになるとされています。



【西尾市役所】

URL (パソコン) <http://www.city.nishio.aichi.jp/>
(携帯電話) <http://www.city.nishio.aichi.jp/mob/>

E-mail nishio@city.nishio.lg.jp

- 本 庁 ☎0563・56・2111 (代表)
〒445-8501 西尾市寄住町下田22
- 一色支所 ☎0563・72・7111 (代表)
〒444-0492 西尾市一色町一色伊那踰61
- 吉良支所 ☎0563・32・1111 (代表)
〒444-0596 西尾市吉良町荻原川畑20
- 幡豆支所 ☎0563・62・5511 (代表)
〒444-0798 西尾市西幡豆町仲田14-2



バーコード対応の携帯電話などで読み取ると「モバイル@西尾市役所」が閲覧できます。